

児童虐待は社会全体でかかわり、 解決していくべき問題です。

児童虐待による死亡事例は年間70件*を超えています。

*子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第17次報告)

年間70件以上、

単純計算すると…**5日間に1人**の子どもが
命を落としていることになります



児童虐待とは

• 身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など

• ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

• 性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

• 心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(面前DV) など

子どもとの関わり方の工夫

point
01

子どもの気持ちや考えに
耳を傾けましょう

point
02

「言うことを聞かない」
にもいろいろあります

point
03

子どもの成長・発達によっ
ても異なることがあります

point
04

子どもの状況に応じて、
身の周りの環境を整えて
みましょう

point
05

注意の方向を変えたり、
子どものやる気に働き
かけてみましょう

point
06

肯定文でわかりやすく、
時には一緒に、お手本に

point
07

良いこと、できていることを
具体的に褒めましょう

point
08

保護者自身の工夫のポイント

- 1▶ 子育てをしているとストレスが溜まることもあります。否定的な感情が生じたときは、まずはそういう気持ちに気付き、認めることが大切です。
- 2▶ 自分の時間や心に余裕がないときは、深呼吸して気持ちを落ち着けたり、ゆっくり5秒数えたり、怒を閉じて風にあたって気分転換しましょう。
- 3▶ 周囲の力を借りると解決することもあります。勇気をもってSOSを出すことで、まだ気付いていない支援やサービスに出会えたりします。



子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか？

子どもについて

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がする
- 不自然な傷や打撲のあとがある
- 衣類やからだがいいつも汚れている
- 表情が乏しい、活気がない
- 夜遅くまで一人で遊んでいる

保護者について

- 地域などと交流が少なく孤立している
- 小さい子どもを家においたまま外出している
- 子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- 子どものけがについて不自然な説明をする



児童虐待かも…と思ったら

ご自身が出産や子育てに悩んだら…

子育てに悩む人がいたら…

表面の児童相談所

虐待対応ダイヤル

相談専用ダイヤル

に、お電話ください

